

評価の様式例 障害児通所支援(児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援)

分類	理念、事業方針等	評価項目	1	①法人の理念 ②事業方針・将来像 を定めている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料	リデルライト両女史記念館	
概要・事例	当事業所は社会福祉法人リデルライトホームが運営しています。法人理念である「自分を愛するように隣人を愛する」「共に喜び、共に泣く」「心を尽くし、力を尽くし」を理念とし地域共生社会の実現を目指しています。高齢者も児童も支援される側だけでなく、支え合い支援するなどの役割を持ってもらうことで世代間での交流・支え合いが可能となりました。 どのような障がいがあっても地域で尊厳のある暮らしができるよう支援致します。 今後も地域共生社会の実現に向けて事業展開及び事業運営を行って参ります。			
分類	理念、事業方針等	評価項目	2	①長期的な事業計画 ②中期的な事業計画 ③年度ごとの事業計画（収支予算項目を含む。）を策定している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	本法人は、介護保険事業及び熊本市委託事業・低所得対策・地域貢献事業など、社会福祉事業の質の向上及び事業の拡充に貢献してまいりました。本事業も、各世代が抱える多様な課題に対応していくことを目的として、地域に開かれた事業運営を行う。 ①②については法人内で策定しており、年度毎の計画は社会状況を踏まえ、毎年計画している。 今後も、保護者や地域の方々のご意見を聞きながら、事業運営に反映する。			

分類	理念、事業方針等	評価項目	3	①法人の理念 ②事業方針・将来像 ③中長期的な事業計画 を全職員が理解するため、研修の開催等の取組みを定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	①法人の理念については、事務所や施設内に掲示し共有する努力をしております。 ②事業方針については、年度計画及び月1回開催する運営会議などで法人全体で事業運営方針を議論しています ③施設内研修・事業所研修・施設外研修など、それぞれのキャリアのあった学びの機会を確立し、キャリアアップを法人全体で支援している。 また、今年度よりzoom等ITを活用した研修にも力を入れている。現場でも、経験年数や習熟度に応じて丁寧な実践指導を行っている。 事業の中長期的な計画を職員同士が共有する場は設けておらず、運営会議等で理事長を含め話合いの場を設けている。			
分類	理念、事業方針等	評価項目	4	①法人の理念 ②事業方針・将来像 ③中長期的な事業計画 を児童の保護者等が理解するため、説明会の開催等の取組みを定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	中長期的な事業計画を保護者に伝える説明会は開催できていないため、実施内容を定め、今後の課題とする。 コロナ禍のため、茶話会や行事など開催が難しい状況にあるが、可能な範囲で地域の方との交流を含め実践している。 保護者の意見を踏まえ事業運営に反映したいと考えている。			

分類	経営状況の分析	評価項目	5	事業計画に基づく事業の経営・進捗状況を定期的に分析している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	代表者と共に運営に関する会議を月に1回設けている。週1回は代表者と直接、意見など細かく話ができる時間があり、運営に反映するような仕組みが確立されている。現場の職員さんからも意見を言いやすい雰囲気作りを目指している。			
分類	経営状況の分析	評価項目	6	経営・進捗状況の分析により課題を把握し、改善に向けた取組み及び必要に応じて事業計画の見直しを行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	経営や進捗状況を運営会議等で話し合う場が設けてある。 運営に関する課題などもその場で話し合い、意見を求めることもできる。 計画内容に変更が生じた場合は事業計画の見直しを行うようにしている。			

分類	管理者等の責務	評価項目	7	管理者が自ら業務改善及び効率化に関する対策等を提案し、職員を指導している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	業務内容の改善及び効率化等に関しては、日々の業務の中で確認しながら課題解決に向けて日々取り組んでいる。 事業内容の質の向上が課題であることを理解し、今後も業務内容の改善及び効率化に向け努力する。 また、業務改善や効率化については職員からも提案を受け、改善できるよう対応している。			
分類	管理者等の責務	評価項目	8	管理者が自らサービスの質の向上に関する対策等を提案し、職員を指導している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	実際に業務に入ることで、児童の個性や特性を把握した上で、サービスの質の向上に向けた対策の提案をしている。 効率化できる部分とできない部分があるため、苦慮することが多いが、職員を増員するなど組織体制の見直しも含め日々検討している。 また、職員の確保に伴うサービスの質の向上も大切な役割と考え、法人を上げ対策に取り組む。			

分類	管理者等の責務	評価項目	9	児童発達支援管理責任者が自らサービスの質の向上に関する対策等を提案し、その他の従業者を指導している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	業務内容や児童の様子などを職員同士で話し合う機会を設けている。職員の出勤状況で全職員で開催できない場合もあるので、その場合は課題を文章化し回覧にて共有化している。課題共有によりサービスの質を向上できるよう努力している。 また、他事業所の見学に行き学びの場とするなど、多方面より日々努力している。			
分類	職員の質の向上	評価項目	10	①必要な人材像 ②職員の育成方針 ③客観的な職員の評価基準 を定めている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	法人内に研修委員会を設置し、職員の質の向上及び育成のために研修の機会を設けている。 法人で職員の評価基準を定めており、国家資格を有し基本的なレベルに達した職員が評価を受けるシステムになっている。 経験年数枚の評価は実施していないが、経験年数に応じたキャリアアッププログラムを設け、学びの場としている。			

分類	職員の質の向上	評価項目	11	必要な人材像を踏まえた職員採用を行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
多様な人材の確保による価値想像力の向上のため、令和3年度は高齢者、外国人の雇用、障がい者の実習受け入れなど、法人内の更なる価値を高めて参りました。				
多様な働き方に合わせて就労継続できる体制を構築します。外国人留学生、特別支援学校からの障がい者の雇用、地域の高齢者雇用も積極的に進めてまいります。				

分類	職員の質の向上	評価項目	12	客観的な職員の評価基準により、定期的な人事評価を行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
等級別標準職務内容の見直しを行い、業務及び責務の明確化とチームパフォーマンス及びエンゲージメントの向上の実現。				
職員間のコミュニケーションの活性化による横断的な組織体制の構築。				
また、不明な点はいつでも対応できるようにしている。				

分類	職員の質の向上	評価項目	13	職員の育成方針及び職員ごとの意向を踏まえ、職員ごとの育成・研修計画を定め、必要に応じてその計画を見直している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
専門職員の配置による療育内容の向上及び勉強会等を通じ職員の質の向上				
専門研修への参加や同事業所の研修を通じ専門性を身につけ、事業運営に活かすことのできる教育体制を実践する				
近隣の放課後等デイサービスや児童発達支援センターとの連携や実習を行い、地域福祉のボトムアップが出来る体制づくり				

分類	職員の質の向上	評価項目	14	全ての職員が、職員ごとの育成・研修計画に基づき、①事業所内の研修 ②外部の研修 に定期的に参加している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
ICTの利用促進による研修等の充実				
WiFi環境、ノートパソコン等のインフラ整備により、会議や施設内・外の研修をオンラインで実施可能にする。				
今後は更にそれぞれの媒体の利用を促進し、研修への積極的な参加により専門性やケアの質の向上に繋げる。				

分類	職員の質の向上	評価項目	15	職員が受けた研修の成果について、レポート、報告会等で全職員が共有している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
法人内での発表等については、全職員を対象とした職員研修会で発表し、内容を伝えている。 ICTの利用促進及び活用による研修会及び勉強会の共有化を行う事で各々のキャリアアップと ケアの質の向上を行っています。 事業所内においても、会議資料やDVD・パワーポイント等の回覧も行っています。				

分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	16	専門学校、大学等の実習生の受入れ、育成等を定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
新型コロナウイルス感染症が拡大する中においても、実習生の受け入れを止めることなく、後進の育成に取り組んでまいりました。				

分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	17	ボランティアの受入れを定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	児童の個性・特性に応じた適切な支援・生活能力の向上などの支援を目的に地域との交流を行っている。 母体の高齢者施設との交流などによる世代間交流も積極的に行っている。 フラダンス・読み聞かせ・ミュージックセラピー等			

分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	18	関係機関(同じサービスを提供する事業所等)と具体的な課題、事例等を検討する会議を定期的を開催し、参加している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	可能な限り会議等に参加し、関係機関との連携に努めサービスの質の向上につながるよう努力している。 それぞれの児童が通う学校や他事業所を含め、担当者会議やモニタリング以外にも送迎の機会も活用し情報交換に努めている。 近隣の放課後等デイサービスとの情報交換も積極的に行い、プログラムや課題への取組み等、情報収集に努める。			

分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	19	周辺地域、関係機関等に対し、便りや会報で事業所の情報を提供している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	併設の高齢者グループホームにて2ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。 運営推進会議では地域の自治会長、民生委員、近隣の介護事業所の職員等に参加していただき、様々な意見交換の場として活用すると共に事業所の運営についても報告を行っている。高齢者と児童の活動及び交流の様子を個人情報に配慮しながら報告しています。			
分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	20	①事業所の行事等の地域への解放 ②地域の行事等への参加 を定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	常に地域とつながりを意識し、充実した日々を送っていただきたいと支援に努めている。児童及び保護者の希望に応じ、地域や保護者と協力し行事等への参加や開催を行っている。回覧板や多方面から地域行事開催の案内や情報を確認し、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分行い、安全に参加できるよう努めています。今後も感染予防対策を講じ地域行事への参加の機会を支援して参ります。 長期休業の時期に機会があれば、児童の安全が保たれる体制を整えた上で積極的に参加していきたい。			

分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	21	児童及びその保護者に対し、事業所内の苦情解決制度（窓口）を定期的に周知している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
苦情解決窓口を設置している旨、重要事項説明書に記載し、保護者へお伝えしている。				
法人内において苦情対策委員会を設置、3ヶ月に1回委員会を開催。会では、各事業所に寄せられた苦情を、理事長を含め検討・改善するようにしている。				
苦情処理対策委員会が方針・対応マニュアルを作成しており、それに沿って苦情発生から処理までを行っている。内容は、ホームページで公表している。				
苦情については、今後も真摯に受け止め対応していく。				

分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	22	苦情解決に必要な対応を客観的に判断できるよう、第三者委員等を設置している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
法人全体で設置している。				
3ヶ月に1回の苦情処理委員会での内容を第三者委員へ報告し意見をもらい、運営に反映させている。				

分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	23	アンケート等により、サービスの内容に係る児童及びその保護者のニーズを定期的に把握している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
保護者や児童のニーズの把握に日頃から努めているが、定期的なアンケート等という形でのニーズの把握は現在のところ行っていない。 今年度は、保護者の懇親を目的とした茶話会形式の場を設ける予定である。運営に関する意見やアンケート調査の実施ならびに自己評価報告・苦情処理の仕組みや苦情内容報告等、開かれた運営が行えるように努力する。				

分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	24	ニーズに基づき把握した課題を踏まえ、サービスの質の向上に係る取組みを行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
保護者や児童のニーズに基づいた課題を取り入れて個別支援計画を作成し、支援に繋げている。 今後は、保護者へのアンケート調査を行い、検討課題の抽出に保護者の児童の意見を取り入れより良い関係が保て円滑な支援に繋がるよう取り組む。				

分類	利用者の人権尊重	評価項目	25	人権侵害、虐待、セクシャルハラスメント等に係る事業所内の研修会を定期的開催している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
研修会を定期的開催し、職員に向けて人権侵害、虐待、セクシャルハラスメント等について学ぶ機会を設けている。 ご家族からも同性介助の申し出があり対応している現状も踏まえ、ご家族・児童に安心して利用していただけるよう、今後も研修を継続していき、適切に対応していく。				

分類	利用者の人権尊重	評価項目	26	人権侵害、虐待等が見過ごされないための取組み（管理者による職員ごとの面接、職員相互のチェック等）を定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
言葉使いや態度などを職員同士がお互いに指摘できる関係でいられる職場環境を保てることを目指している。 言動が不適切だった際は、振り返りをし、適切な対応ができるよう指導している。				

分類	個人情報の保護	評価項目	27	個人情報の保護に係る事業所内の研修会を定期的に開催している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
雇用に当たっては、個人情報の保護に係る誓約書を書面で交わし都度説明を行っている。勉強会・研修会を定期的に開催し、個人情報の保護及びその取扱いについて学び取り組んでいる。				
個人情報の取扱いについては、重要事項説明の際などに保護者へ説明し、同意を得ながら取り扱うようにしている。				
今後も情報の取り扱いには十分配慮していく。				

分類	個人情報の保護	評価項目	28	アセスメント表、支援計画等の個人情報が記載された記録は、施錠可能なキャビネットに保管する等の対応を行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
施錠できる場所に個人情報は保管している。				
個人情報が入った媒体は事業所だけでの保管とし、事業所外への持ち出しは行っていない。				

分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	29	提供するサービスの標準的な取扱いを規定する手引書(マニュアル)を作成している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
事業内容のマニュアルについて、定期的に中身を確認しながら現状に即した内容になっているかなどマニュアルの見直しを行う。 また、マニュアルを基本とした画一的な支援とならないよう留意し、児童の特性や傾向に応じた支援が行えるよう努めていく。				

分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	30	手引書(マニュアル)の見直しの必要性を判断するため、実務に携わる職員の意見を定期的に確認している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例				
マニュアルの見直しに当たっては職員の意見を反映するように努めている。見直しは1回／年もしくは、必要時としている。 マニュアルの活用により、職員がより一貫性のある支援が行えるよう努めている。 保管場所を明確にし、職員がマニュアルを活用出来るようにする。				

分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	31	サービスの提供の記録に当たり、①児童の心身状況・様子 ②職員が提供した介護・支援 の内容が詳細に記録されている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	支援記録は、支援計画の内容を基本とし、当日の利用状況や日程に沿って活動を行い、活動の様子、言葉や動き、表情など記載するように努めている。 また、これらを職員間にて情報共有し、個別性に応じた支援を総合的实施できるよう連携に努めている。			
分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	32	児童ごとの詳細な課題及びそれに応じた支援方法について、週ごと、月ごと等の頻度で、児童発達支援管理責任者を中心とした職員間で協議・記録し、支援計画の見直しに繋げている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	児童発達支援管理責任者や児童指導員と共に課題や目標、支援計画の内容・支援方法の見直しなど行っている。 今後、定期的なケース会議の開催を通し、より細やかな支援や成長期における児童への迅速的な支援に繋がいく。 また、課題について協議した内容は書面にて全職員に回覧している。			

分類	サービスごとの質の向上	評価項目	33	集団生活への適応、日常生活動作等について、具体的に到達すべき目標を定めている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	児童発達支援管理責任者が作成した支援計画に基づき、職員間で情報共有しながら目標達成に向けた支援を行っている。 児童の特性や状況等を考慮しながら目標達成に向けた支援を行っている。 また、職員及び保護者、関係機関と連携し、ワンチームで児童の成長のために支援を行っている。			

分類	サービスごとの質の向上	評価項目	34	児童が自ら対応できる動作、行動等については、緊急時の対応ができる範囲で声掛けや見守りの支援を優先するよう計画に定め、それに基づき支援をしている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	児童の特性を把握、尊重し各々が経験から自信や喜びなどプラスの感情を抱き成長に寄与出来るよう、 自発性や身辺自律を目的とした支援を目指す。 世代間交流を通して、互いに支え合い、対人関係において大切なコミュニケーション力やマナー等の習得を目指す。 高齢者との世代間交流を支援している。 児童と高齢者がお互いに交流し支え合える関係がコミュニケーション能力の向上に繋がると考えている。			

分類	サービスごとの質の向上	評価項目	35	児童の保護者に対する療育指導等を行う機会を定期的に設けている。
取り組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	保護者とお話をする機会は来所、電話、メール、送迎時など色々な形で積極的に行い、児童の支援につなげている。 児童が多くの経験をすることで、健やかな成長につながるよう、保護者や学校、関係機関と日々連携を図りながら今後も事業運営を実施する。 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、療育指導等や意見交換のための茶話会の開催を行う。			